

平成28年8月26日(金)
国土交通省 関東地方整備局
港湾空港部

記者発表資料

台風9号の豪雨により東京湾内に流入した大量の漂流物を回収 ～「べいくりん」が流木等の漂流物を回収(速報)～

1. 概要

国土交通省関東地方整備局は、台風来襲直後の平成28年8月23日(火)に、関東地方整備局が所管する航路監視船等3隻を活用し、東京湾内の流木等漂流物の現状把握を行うとともに、清掃兼油回収船「べいくりん」(千葉港湾事務所所管)を急遽現地に派遣し、台風9号に伴う豪雨により東京湾内に流入した漂流物の回収作業を開始しました。

これらにより、**わずか3日間で今年度約5ヶ月間で回収した3倍強(約63.1m³)の漂流物を回収しました。**漂流物の中には、流木37本(径5～50cm、長さ0.5～5.5m)も含まれています。最大では長さ5.5mの流木を回収しています。(別添1)

現在も流木等の漂流物があることから、引き続き「べいくりん」にて、漂流物の回収を実施します。

※「べいくりん」は、航行船舶の安全性の確保と海洋環境保全のため、漂流物の回収を行うと共に、油流出事故など災害発生時の油回収等を行う船舶です。(別添2)

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、埼玉県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課
課長 野口 孝俊(のぐち たかとし)
課長補佐 中川 大(なかがわ ひろし)
電話 045-211-7420 FAX 045-211-0204



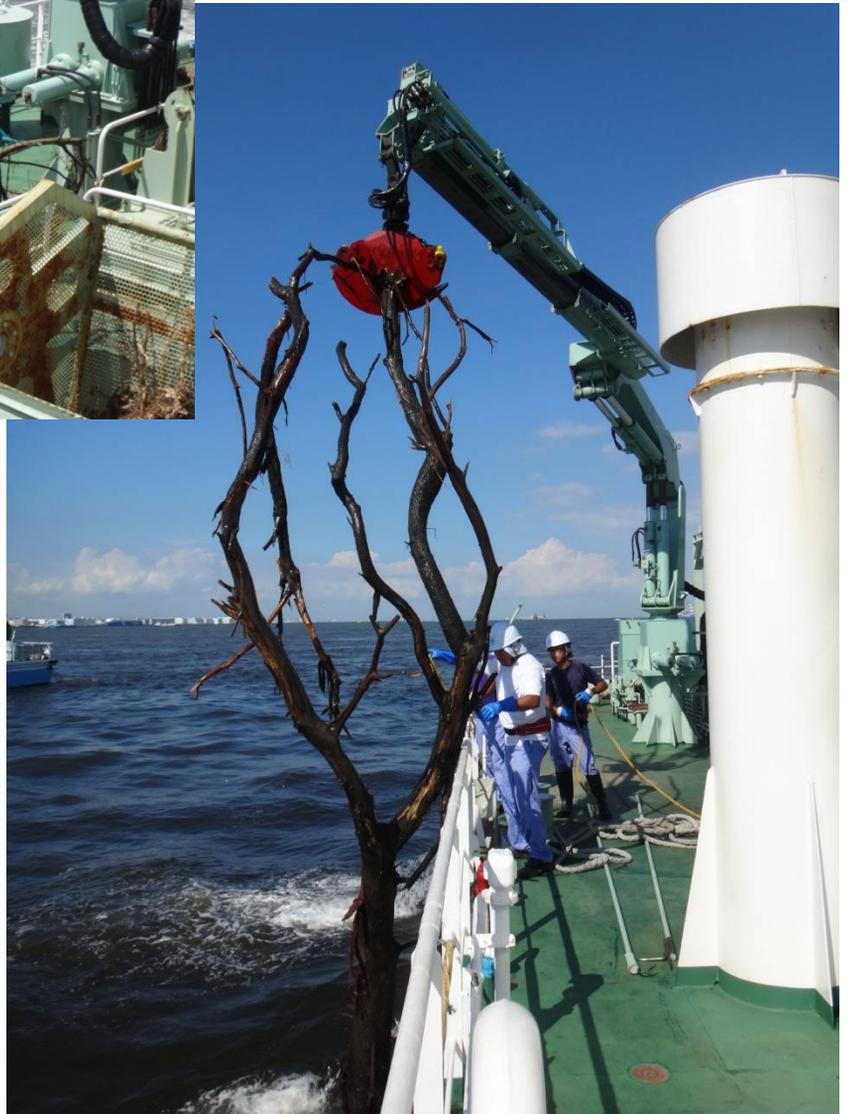
回収した流木



回収した流木



回収した流木



回収した流木



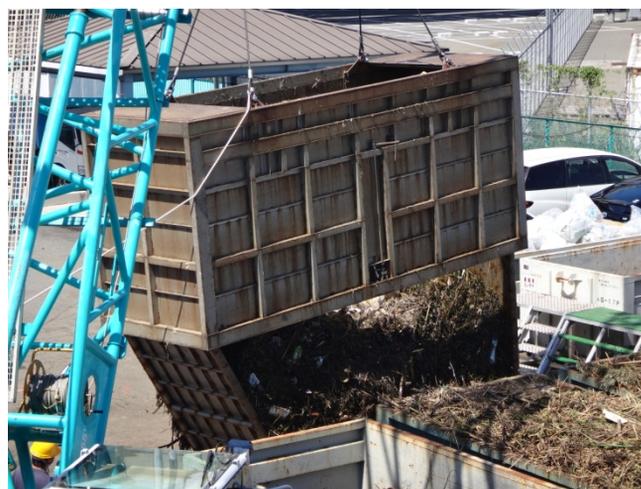
「べいくりん」による回収状況



回収したケーブルドラム



漂流物の陸揚状況



漂流物の陸揚状況

清掃兼油回収船「べいくりん」の概要

関東地方整備局 千葉港湾事務所 所属



「べいくりん」
全長:約32.5m
全幅:約11.6m
総トン数:約199トン



“べいくりん”の業務

「海洋環境整備事業」の一環として、東京湾の一般海域において「浮遊ゴミの回収」や、東京湾の環境メカニズム解明のために、「水質及び底質の調査」を定期的に行っています。

また、油流出事故や、大地震などの災害が発生した場合には「浮遊油の回収」や「航路の啓開」を実施します。



油回収器



スキッパー



ゴミコンテナ



多関節クレーン

東日本大震災時の活動

震災直後には地震の揺れにより、千葉県市原市の製油所のタンクが破損したことにより流出した油の回収作業に当たりました。

また、海上物流拠点の仙台塩釜港や石巻港周辺海域で約1ヶ月間、がれきの撤去作業を行いました。